

74 コミュニティサイクル事業【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	だれもが移動しやすい環境の整備を進めます
------------------------	----------------------

事業概要	内容	区では、身近な交通手段である自転車の活用による環境負荷の低減、健康の増進、放置自転車の削減、自転車による交通の役割の拡大、観光振興に資することを目的としてコミュニティサイクル事業を実施しています。平成26年10月1日に実証実験を開始し、周辺区との広域的な事業展開を行いながら、新たな移動手段として利便性の向上に努めています。
	事業開始年度	平成26年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	10,930,000円		160,805円		1.5%		
	コスト単位	延べ利用回数1回あたり				(1,423,650回)	
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
0円		[1.8%]	6円	[98.2%]	6円	[100.0%]	

事業実績	○令和元年度実績			
	(1) 利用実績等の推移 ※ () 内の数値は各年度の増加数			
	項目	令和元年度	平成30年度	平成29年度
	利用回数 (回)	1,423,650 (290,523)	1,133,127 (407,762)	725,365 (323,591)
	ポート数 (か所)	90 (9)	81 (19)	62 (5)
	自転車台数 (台)	800 (0)	800 (0)	800 (0)
登録者数 (件)	137,657 (38,944)	98,713 (35,758)	62,955 (26,771)	
	(2) ポート適正配置の推進 麴町・番町周辺地域などへポートを9か所新設しました。			
	(3) 広域連携 平成28年2月1日から、4区(千代田・中央・港・江東)における自転車相互乗り入れの広域連携を開始し、平成28年10月に新宿区、平成29年1月に文京区、平成29年10月に渋谷区、平成30年4月に品川区・大田区が加わり、令和元年6月に目黒区が乗り入れを開始し、10区での自転車相互乗り入れが可能となり利便性が向上しました。			
	(4) 自転車再配置拠点の整備 自転車再配置拠点を区内に整備し、バッテリー交換回数とポート巡回回数を増やしました。			
	※自転車再配置拠点の整備費用について、事業収益増により事業者負担としたため、執行率が低くなりました。			

3年度事業実績を踏まえた令和	利用実績が毎年大きく伸びる一方で、自転車のポート以外への放置や信号無視、歩行者との接触などの事例も見受けられることから、交通ルールの遵守等の利用マナーの向上が課題となっています。 令和2年度は、本格実施に移行するとともに、利用者に対してWeb等で安全啓発を実施し、自転車の交通ルールや利用マナーの周知を図っていきます。 令和3年度は、東京2020大会が開催されるため、外国人等の来街者が気軽に利用できるサービスの提供や、観光における移動手段としての利用促進などの周知・PR等を、事業者と共に進めていきます。
----------------	---

所管課 環境まちづくり部 環境まちづくり総務課	決算参考書	204頁	H31予算の概要	160頁
-------------------------	-------	------	----------	------

75 放置自転車対策【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	だれもが移動しやすい環境の整備を進めます
------------------------	----------------------

事業概要	内容	自転車駐車場の整備、放置禁止区域の指定、放置自転車への警告・撤去等を行うことにより、駅周辺を中心に、区内における自転車等の放置防止を図り、誰もが安全・安心・快適に通行できる環境を確保します。
	事業開始年度	平成11年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	151,162,000円		103,016,878円		68.1%		
	コスト単位	昼間人口1人あたり (853,068人)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
	121円	[67.9%]	57円	[32.1%]	178円	[100.0%]	

事業実績	○令和元年度実績
	<p>(1) 自転車駐車場等の管理 (令和2年3月末現在)</p> <p>①年間登録制 16か所 総収容台数：自転車1,456台・原付138台</p> <p>②コインパーキング 15か所 総収容台数：自転車1,135台・原付 53台</p> <p>※神田駅東自転車駐車場を新設</p> <p>(2) 区内全域の放置自転車対策</p> <p>①撤去：3,568台 (うち原付45台)</p> <p>返還：2,272台 (うち原付34台)</p> <p>再生自転車販売：57台 (自転車のみ)</p> <p>②主要駅の放置自転車台数 (原付・バイク含む)：2,051台 (昨年度より560台減)</p> <p>③自転車等放置禁止区域の指定：10か所</p> <p>※神田駅周辺と秋葉原駅周辺 (中央令和広場) の区域を拡大</p> <p>(3) 放置自転車対策の啓発活動</p> <p>①秋葉原駅前放置自転車クリーンキャンペーン：1回開催 (4月)</p> <p>※10月のキャンペーンは、台風により中止</p> <p>②サイクルフェア (再生自転車販売、交通安全講習会等)：2回開催 (5月・11月)</p>

3 事業年度実績を踏まえた令和対応	東京都が毎年行っている調査「駅前放置自転車等の現況と対策」で、平成26年度に秋葉原駅周辺の放置自転車台数が都内ワースト1位 (872台) となりましたが、地域と連携しながら放置自転車対策を強化した結果、令和元年度調査では256台に減少しました。今後も、安全で快適な道路環境とまちの景観向上を図るため、放置自転車対策の継続が必要です。
	令和2年度も、引き続きコインパーキングの設置や自転車等放置禁止区域の指定を進め、放置自転車対策に取り組んでいきます。 令和3年度は、自転車等放置禁止区域の指導等を強化していきます。

所管課	環境まちづくり部 環境まちづくり総務課	決算参考書	204頁	H31予算の概要	154頁
-----	---------------------	-------	------	----------	------

76 監察業務の運営【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		だれもが移動しやすい環境の整備を進めます					
事業概要	内容	道路上に物を置くことは、歩行者や車両等の通行の支障となるばかりでなく、災害時には、緊急車両の走行にも大きな影響を及ぼします。 そのため、区が管理する道路上や公園の不正使用の未然防止を図ることや、不正使用に対する注意・指導を行うためのパトロールを実施し、安全・安心なまちづくりを進めていきます。					
	事業開始年度	令和元年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額			執行率	
	11,904,000円		10,429,224円			87.6%	
	コスト単位	パトロール1回あたり				(240回)	
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
43,455円		[92.8%]	3,375円	[7.2%]	46,830円	[100.0%]	
事業実績	○令和元年度実績 監察業務専用の車両を借り上げ、日常パトロールの充実と緊急出動を行いました。 (1) 日常パトロール ①実施日数 167日 ②内容 ・不正使用の状況確認を目的とした巡回 ・不正使用に対する注意・指導 ・路上生活者が放置した物件の除却や道路・公園などの利用に対する指導など (2) 緊急出動 (苦情対応等) ①実施回数 73回 ②内容 ・不正使用に対する指導 (関係部署との合同指導を含む) ・路上生活者が放置した物件の除却や道路・公園などの利用に対する指導など						
	日常パトロールの強化と緊急出動を行いました。						継続的な指導と意識啓発が必要です。
3 事業 年度 予 算 現 況 踏 ま え の 対 応	令和2年度は、日常パトロールを継続していくとともに、立て看板が多いエリアを重点地区として注意・指導を強化し、悪質な飲食店等に対しては、関係機関と協力して継続的に指導を行います。						
	令和3年度は、令和2年度に引き続き、日常パトロールを実施し安全・安心なまちづくりを進めていきます。						
所管課 環境まちづくり部 環境まちづくり総務課		決算参考書		204頁	H31予算の概要		155頁

77 屋外広告物及び看板等の安全推進【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		建物の耐震化を促進します					
事業概要	内容	<p>近年、地震や津波などの自然災害が多く発生していますが、人命に関わる大きな危険要素として、道路に面したビルなどに設置されている屋外広告物（看板など）の落下による事故もその一つと言えます。</p> <p>区は東日本大震災後、平成24年度から25年度にかけて区内の屋外広告物の損傷確認や落下防止のための現状調査を行い、その結果をデータ化し活用しています。</p> <p>しかし、調査から5年が経過し、屋外広告物の安全性に関するデータ更新を図るため、令和元年度から再度の調査を行い、危険な屋外広告物に対する是正・改善指導などに活用していきます。</p> <p>調査は2年かけて行い、令和元年度は麴町地域、令和2年度は神田地域の調査を行います。</p>					
	事業開始年度	令和元年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	16,885,000円		16,885,000円		100.0%		
	コスト単位	調査面積 1 km ² あたり				(4.55 km ²)	
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
3,710,989円		[95.4%]	178,027円	[4.6%]	3,889,016円	[100.0%]	
事業実績	○令和元年度実績						
	<p>麴町地域の調査を実施（調査面積：4.55km²）</p> <p>(1) 安全確認調査 広告物等の錆・腐食・破損状況等を調査し、落下や倒壊の可能性のある広告物を把握しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物（合計）12,547基 ・安全確認の結果：①良い 12,409基 <li style="padding-left: 20px;">②要点検 136基 <li style="padding-left: 20px;">③要補修 2基（指導済） <p>(2) 広告物等の適合確認 広告物等の規模や法令の定める基準への適合状況、屋外広告物申請及び道路占用申請の有無を確認しました。未申請の広告物等については、令和2年度に是正指導します。</p>						
2年度事業実績及び現況への対応	<p>屋外広告物が自然災害等により損傷や落下のおそれが生じないよう、今後も安全性を確認するとともに、必要に応じて是正指導を行っていく必要があります。</p> <p>令和2年度は、令和元年度の調査結果に基づき麴町地域の是正指導を行うとともに、引き続き神田地域で調査を実施します（調査面積：3.26km²）。</p> <p>令和3年度は、神田地域に対して調査結果に基づき是正指導を行います。</p>						
所管課 環境まちづくり部 環境まちづくり総務課		決算参考書		204頁	H31予算の概要 165頁		

78 ヒートアイランド対策の推進

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		地球に優しい環境づくりを進めます			
事業概要	内容	<p>千代田区は、都市部の中心に位置しているため、区内全域がヒートアイランド化しています。深刻なヒートアイランド現象を緩和することは、熱中症などのリスクから区民を守ることはもとより、集中豪雨などの災害を防止するためにも重要です。</p> <p>このため、区では、新築の建物に対する緑化指導を通じた緑化の推進に取り組むとともに、改修による屋上緑化、高反射率塗料・日射調整フィルム設置等を行う区民や区内事業者へ費用の一部を助成しています。</p> <p>また、クールスポットの創出や打ち水等への支援・普及啓発を行い、快適で涼しいと感じられる環境を創出しています。</p>			
	事業開始年度	平成18年度			
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率
	118,742,000円		103,088,766円		86.8%
	コスト単位	区民1人あたり			(66,467人)
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)	
1,551円		[71.4%]	622円	[28.6%]	2,173円 [100.0%]
事業実績	○令和元年度実績				
	<p>(1) 緑化指導 ①指導件数：52件 ②緑地創出面積：6,569㎡</p> <p>(2) ドライ型ミスト設置 ①設置箇所：区内公園4か所 ②設置期間：7月1日～9月30日</p> <p>(3) ヒートアイランド対策助成 ①助成件数：25件 (緑化4件、高反射率塗料6件、日射調整フィルム6件、ドライ型ミスト9件)</p> <p>(4) 打ち水 ①区内一斉打ち水：8月1日 区内各所38件、区役所本庁舎前93名参加 ②打ち水用品等の貸出：7月5日～9月30日 26件</p> <p>(5) 緑のカーテン事業 区民や区内事業者へゴーヤ等の苗2株及び肥料を460セット配布</p>				
3年度事業実績及び現況の対応	ヒートアイランド現象を緩和するためには、緑化や地表面等の蓄熱を抑えるための対策やクールスポットの創出などを推進していく必要があります。				
	<p>令和2年度は、ヒートアイランド対策助成に遮熱性塗料、熱交換塗料、ドライ型ミスト(レンタル)を追加舗装面や建物屋上の蓄熱の抑制等を推進するとともに、「涼風の道」である千鳥ヶ淵緑道、区内公園の6か所にドライ型ミストを設置し、クールスポットの創出を推進します。また、緑のカーテン事業では、区民や区内事業者が緑のカーテン作りに取り組めるよう、ゴーヤ等の育て方を紹介する小冊子を作成・配布します。</p> <p>令和3年度は、引き続きヒートアイランド現象の緩和に向けて、官民協力してクールスポットの創出等を推進していきます。</p>				
所管課 環境まちづくり部 環境政策課		決算参考書	206頁	H31予算の概要	175頁

79 地球温暖化対策【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	地球に優しい環境づくりを進めます
------------------------	------------------

事業概要	内容	都内で唯一の「環境モデル都市」として、区の実情を踏まえた様々な取組みを展開し、温暖化対策を総合的・計画的に推進します。
	事業開始年度	平成18年度

事業費・コスト	予算現額		決算額	執行率	
	(1) 地球温暖化対策の推進		12,275,000円	8,413,652円 68.5%	
	(2) 建築物省エネ推進		90,405,000円	72,322,240円 80.0%	
	(3) 第4次実行計画の推進		8,056,000円	2,370,000円 29.4%	
	コスト単位	(1) 昼間人口1人あたり		(853,068人)	
		(2) 昼間人口1人あたり		(853,068人)	
		(3) 区民1人あたり		(66,467人)	
	コスト内訳	事業費等 (A)	人件費 (按分) (B)	総コスト (C=A+B)	
	(1)	10円 [38.5%]	16円 [61.5%]	26円 [100.0%]	
	(2)	85円 [73.3%]	31円 [26.7%]	116円 [100.0%]	
(3)	36円 [33.0%]	73円 [67.0%]	109円 [100.0%]		

事業実績	<p>○令和元年度実績</p> <p>(1) 地球温暖化対策の推進</p> <p>①地球温暖化対策の検証及び地域気候変動適応計画策定に向けた検討 令和2年に千代田区地球温暖化対策条例に掲げる区内CO₂排出量の対策目標年次を迎えることから、これまでの取組み等を検証し、「千代田区地球温暖化対策地域推進計画2015」を見直すこととしました。また、地域気候変動適応計画の策定に向けた調査・検討を行い、区における気候変動の影響や優先的に取り組む分野等について整理しました。</p> <p>検証・整理にあたっては、既存の千代田区地球温暖化対策推進懇談会に学識経験者等で構成する検討部会を設け、意見聴取を行いました(計3回開催)。</p> <p>②温暖化配慮行動計画書制度 計画書兼報告書提出事業所数 義務提出者(従業員300人以上) : 231事業所 任意提出者(従業員300人未満) : 39事業所</p> <p>(2) 建築物の省エネ推進</p> <p>①グリーンストック作戦 中小事業所ビル等省エネ診断件数 : 52件 ②建築物環境計画書制度 届出件数 : 78件 ③省エネルギー改修助成 助成件数 : 118件 ④低炭素建築物助成 助成件数 : 3件</p> <p>(3) 第4次実行計画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全区有施設について施設ごとの目標設定、個票作成 ・改善の見込まれる施設に対して、現場ヒアリングを実施(4施設) <p>※計画等の進捗管理業務の契約差金により執行率が低くなりました。</p>
------	--

3年度事業実績及び現況への対応	<p>地球温暖化対策検証結果を踏まえると、現行の取組みの一層の強化や効果的な取組みの追加実施について検討し、現行の計画を見直す必要があります。</p> <p>令和2年度は、「千代田区地球温暖化対策地域推進計画2015」の改定と地域気候変動適応計画の策定に向けた検討を行います。また、省エネルギー改修助成では、マンション共用部への改修に対する助成を拡充し、建築物のさらなる省エネ化の推進に取り組めます。</p> <p>令和3年度は、新たな計画に基づいた取組みを実施し、地球温暖化対策のより一層の推進を図ります。</p>
-----------------	--

所管課 環境まちづくり部 環境政策課	決算参考書	206頁	H31予算の概要	173頁
--------------------	-------	------	----------	------

80 (仮称)エコセンターの整備

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		地球に優しい環境づくりを進めます					
事業概要	内容	<p>「千代田区地球温暖化対策地域推進計画2015」では、環境学習の拠点、環境マネジメントシステム普及の拠点、リサイクルの拠点、環境に関するネットワークの拠点をめざし、(仮称)ちよだエコセンターの開設を計画しています。</p> <p>(仮称)ちよだエコセンターを区内事務所ビルの省エネのモデル施設として整備し、その取組み・運用状況等の情報を積極的に発信することで、CO₂排出量の多くを占める事務所ビル等の低炭素化の促進をめざしていきます。</p>					
	事業開始年度	平成30年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額			執行率	
	5,795,000円		0円			0.0%	
	コスト単位	昼間人口1人あたり (853,068人)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
0円		[0.0%]	2円	[100.0%]	2円	[100.0%]	
事業実績	<p>○令和元年度実績</p> <p>令和元年5月に策定した「(仮称)ちよだエコセンター基本構想」の内容を踏まえ、エコセンターの設置効果を高める手法や施設整備の方向性を決定し、基本計画の策定を予定していました。しかしながら、より効果的な整備手法の検討が必要なこと及び施設整備に係る他の行政需要との関係を整理する必要があることから、基本計画の策定に関する検討を見送って予算を執行しなかったため、執行率が低くなりました。</p>						
	<p>平成27年に策定した「千代田区地球温暖化対策地域推進計画2015」では、環境に関する様々な活動の拠点として、また、省エネビルのモデル施設として、(仮称)ちよだエコセンターの開設を掲げています。</p> <p>令和2年度は、より効果的な整備手法の検討を深めつつ、他の行政需要との関係を区有地等活用検討会などを活用しながら整理を行い、(仮称)ちよだエコセンターの整備について検討します。</p> <p>令和3年度は、検討結果に応じて対応していきます。</p>						
3年度事業実績を踏まえた課題及び現況への対応							
所管課 環境まちづくり部 環境政策課			決算参考書		206頁	H31予算の概要 175頁	

81 景観計画の策定等

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		地域ごとの特性を踏まえた景観を守り育て、千代田区の 魅力を高めます				
事業概要	内容	<p>区は平成10年に「千代田区景観まちづくり条例」を制定し、事業者などとの対話と協働のもと、個々の建設行為を対象に景観協議・届出制度を実施し、良好な景観形成に取り組んできました。</p> <p>平成16年には、「良好な景観は、現在及び将来における国民共通の資産」という基本理念や「地域における景観行政を担う主体は景観行政団体である」との考えのもと、景観法が施行されました。</p> <p>区は、平成31年4月に景観法に基づく景観行政団体となり、条例に基づく取組みに加え、法に基づく協議や指導が可能になることから、良好な景観形成に向けた方針や基準等を示す景観計画やガイドライン等の策定に取り組みます。</p>				
	事業開始 年度	平成22年度				
事業費・ コスト	予算現額		決算額		執行率	
	7,668,000円		7,609,000円		99.2%	
	コスト単位	調査1件あたり		(1 件)		
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)
7,609,000円		[35.6%]	13,770,379円	[64.4%]	21,379,379円 [100.0%]	
事業実績	○令和元年度実績					
	<p>平成31年4月に、区が景観法に基づく景観行政団体になったことを受け、「千代田区景観まちづくり計画」の策定に取り組みました。計画策定にあたっては、景観まちづくり審議会での審議やパブリックコメントの実施、都市計画審議会での意見聴取を経て令和2年3月に策定しました。</p> <p>【策定経緯】</p> <p>令和元年6月4日 景観まちづくり審議会審議 (計画たたき台)</p> <p>令和元年9月24日 景観まちづくり審議会審議 (計画素案)</p> <p>令和元年10月21日 ～11月11日 パブリックコメント</p> <p>令和元年12月20日 景観まちづくり審議会審議 (計画案)</p> <p>令和2年1月24日 都市計画審議会 意見聴取 (計画案)</p> <p>令和2年3月 景観まちづくり計画策定</p>					
3 事業 年度予 算を踏 まえた 令和	令和元年度に策定した「千代田区景観まちづくり計画」に基づき、計画に定める行為の規制を行う必要があります。					
	<p>令和2年度は、「千代田区景観まちづくり計画」の運用に向け、界限別に特化した「界限別・重点地区景観まちづくりガイドライン」及び屋外広告物に対して適切な景観誘導を図るための「屋外広告物景観まちづくりガイドライン」の策定を進めます。</p> <p>令和3年度は、景観まちづくり条例に基づく景観まちづくり重要物件の見直し・拡充を検討するとともに、景観法に基づく景観重要建造物の指定に向けた調査・検討を実施してまいります。</p>					
所管課	環境まちづくり部	景観・都市計画課	決算参考書	206頁	H31予算の概要	171頁

82 都市計画マスタープランの改定

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		地域ごとのまちづくりのルールをつくります					
事業概要	内容	<p>区は、「千代田区街づくり方針」を昭和62年に策定後、社会情勢の変化、防災や地球環境に関する区民意識の高まり、ゆとりと豊かさを実感できる社会への希求など、区民ニーズを踏まえたまちづくりの展開に向け、平成10年3月に「千代田区都市計画マスタープラン（都市計画に関する基本的な方針）」を策定しました。策定後20年程度が経過し、目標年次を迎えています。この間、区の人口構造や区を取り巻く社会経済状況、都市のありよう等は大きく変化しています。</p> <p>そこで、現行マスタープランにおける理念や将来像、分野別まちづくりの目標や方針及び地域別構想が、環境の変化等に対応できているのかを検証し、令和2年度の改定に向けて検討を進めます。</p>					
	事業開始年度	平成30年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額			執行率	
	13,327,000円		13,263,800円			99.5%	
	コスト単位	計画1件あたり				(1件)	
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
13,263,800円		[62.1%]	8,100,223円	[37.9%]	21,364,023円	[100.0%]	
事業実績	<p>○令和元年度実績</p> <p>都市計画マスタープランにおける改定の論点を整理した「中間のまとめ」を作成し、区民等の意見聴取や公聴会を踏まえてさらに検討を行い、千代田区都市計画マスタープラン改定素案骨子を取りまとめました。</p> <p>(1) 「中間のまとめ」に対する意見聴取・公聴会の実施</p> <p>都市計画審議会や都市計画マスタープラン改定検討部会等での検討を踏まえ、計画改定の節目に際して都市計画マスタープランの改定の論点を整理した「中間のまとめ」を公表するとともに、意見聴取や公聴会を開催し、区民等から様々な意見をいただきました。</p> <p>【会議等実施実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画審議会 5回（7月、10月、12月、1月、3月） ・都市計画マスタープラン改定検討部会 4回（6月、9月、11月、2月） <p>(2) 「改定素案骨子」の取りまとめ</p> <p>「中間のまとめ」を基に、意見聴取や公聴会等でいただいた意見や分野別まちづくりの検討結果等を踏まえて再編成した「改定素案骨子」を取りまとめました。</p>						
	3年度事業実績を踏まえた令和2年度予算への対応	<p>改定の検討にあたり、まちづくりの多様な当事者の意見を伺い、プロセスを広く周知しながら検討を進めていく必要があります。</p> <p>令和2年度は、令和元年度に引き続き、意見聴取や公聴会をはじめ様々な区民参画手法を活用し検討を加速させ、都市計画マスタープランを改定します。</p> <p>令和3年度は、都市計画マスタープランの改定を受けて、都市をマネジメントしていく体制の確立に向けた検討を行います。</p>					
所管課 環境まちづくり部 景観・都市計画課		決算参考書		208頁	H31予算の概要		146頁

83 緑の基本計画の改定【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		地域ごとのまちづくりのルールをつくります					
事業概要	内容	<p>区は、平成10年3月に都市緑地法第4条に基づく「千代田区緑の基本計画」を策定し、都市における緑地の保全や緑化の推進に関する施策を実施してきました。</p> <p>計画策定から20年程度が経過し、社会情勢が変化するとともに、計画の改定時期を迎えています。</p> <p>このため、改定検討中の都市計画マスタープランの方向性との整合性を図りながら、学識経験者や区民、有識者等で構成する検討委員会での検討や区民等の意見を踏まえて、計画を改定します。</p>					
	事業開始年度	令和元年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額			執行率	
	6,697,000円		3,868,000円			57.8%	
	コスト単位	計画1件あたり			(1 件)		
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
3,868,000円		[37.4%]	6,480,178円	[62.6%]	10,348,178円	[100.0%]	
事業実績	<p>○令和元年度実績</p> <p>「千代田区緑の基本計画」の改定に向けた基礎調査を実施するとともに、学識経験者等を含めた検討委員会を設置し、検討を行いました。</p> <p>(1) 基礎調査の実施</p> <p>新たな評価軸である緑視率の実態調査を行いました。</p> <p>①目的</p> <p>緑被率では評価できない立体的な緑化手法も含め、千代田区の緑を評価するとともに、都市環境の特性が異なる地域ごとに緑の質の状況を把握する。</p> <p>②調査地点</p> <p>約100地点</p> <p>(2) 千代田区緑の基本計画検討委員会の設置・実施</p> <p>学識経験者等を含めた検討委員会を設置し、改定の検討を行いました。</p> <p>【検討委員会開催実績】</p> <p>検討委員会 2回 (11月、2月)</p> <p>※計画改定検討支援業務の契約差金により、執行率が低くなりました。</p>						
	<p>改定検討中の都市計画マスタープランとの整合を図りながら、検討委員会を中心に検討を深めていく必要があります。</p> <p>令和3年度は、令和2年度に引き続き、検討委員会を中心に検討を加速させ、区民等の意見や改定都市計画マスタープランの方向性を踏まえ、「千代田区緑の基本計画」を改定します。</p>						
3年度事業実績を踏まえた令和3年度予算への対応							
所管課 環境まちづくり部 景観・都市計画課		決算参考書		208頁		H31予算の概要 149頁	

84 駐車場整備計画の改定【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		地域ごとのまちづくりのルールをつくります					
事業概要	内容	<p>区は、平成16年1月に駐車場法第4条に基づく「千代田区駐車場整備計画」を改定し、路上駐車場及び路外駐車場の整備に関する施策を実施してきました。</p> <p>計画を改定して以来、自動車の使用・保有動向や駐車場需要の変化、まちづくりにおける駐車場の課題など、駐車場を取り巻く社会情勢が変化するとともに、計画改定時期を迎えています。</p> <p>このため、改定検討中の都市計画マスタープランの方向性との整合を図りながら、学識経験者、関係団体で構成する検討委員会での検討や区民等の意見等を踏まえて、計画を改定します。</p>					
	事業開始年度	令和元年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額			執行率	
	10,030,000円		10,016,696円			99.9%	
	コスト単位	計画1件あたり			(1 件)		
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
10,016,696円		[60.7%]	6,480,178円	[39.3%]	16,496,874円	[100.0%]	
事業実績	<p>○令和元年度実績</p> <p>「千代田区駐車場整備計画」の改定に向けた基礎調査を実施するとともに、学識経験者等を含めた検討委員会を設置し、検討を行いました。</p> <p>(1) 基礎調査の実施</p> <p>駐車場の需要量及び供給量に関する状況を把握するための実態調査を実施するとともに、既存調査の結果や公表データ等の整理・分析を行いました。</p> <p>【基礎調査の結果】</p> <p>①需要量について 全ての地域で自動車及び貨物自動車・軽貨物車の移動は減少しています。</p> <p>②供給量について 全ての地域で路外駐車場の整備目標量を上回っており、駐車供給量の整備は十分に進んでいる状況にあります。</p> <p>(2) 千代田区駐車場整備計画検討委員会の設置・実施</p> <p>学識経験者等を含めた検討委員会を設置し、改定の検討を行いました。</p> <p>【検討委員会開催実績】</p> <p>検討委員会 1回 (令和2年2月)</p>						
	<p>改定検討中の都市計画マスタープランとの整合を図りながら、検討委員会を中心に検討を深めていく必要があります。</p> <p>令和3年度は、令和2年度に引き続き、検討委員会を中心に検討を加速させ、区民等の意見や改定都市計画マスタープランの方向性を踏まえ、「千代田区駐車場整備計画」を改定します。</p>						
3年度事業実績を踏まえた対応							
所管課	環境まちづくり部	景観・都市計画課	決算参考書	208頁	H31予算の概要	149頁	



85 地区整備プランの作成

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		地域ごとのまちづくりのルールをつくります					
事業概要	内容	都市計画マスタープランにおける地域目標の実現に向けて、地域の人々と共にまちづくりの基本的方向性を検討し、将来の市街地像のイメージを共有化するため、調査の実施や整備構想等の策定を行います。 令和元年度は、日本テレビ通り沿道のまちづくりの動向に合わせた検討などに取り組みます。					
	事業開始 年度	平成9年度					
事業費・ コスト	予算現額				決算額		執行率
	(1) 地区整備プランの作成（景観・都市 計画課）		3,270,000円		495,000円		15.1%
	(2) 地区整備プランの作成（地域まちづ くり課）		6,345,000円		0円		0.0%
	コスト単位	(1) 1地区あたり			(1地区)
		(2) 1地区あたり			(0地区)
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
	(1)	495,000円	[10.9%]	4,050,112円	[89.1%]	4,545,112円	[100.0%]
(2)	—	—	—	—	—	—	
事業実績	<p>○令和元年度実績</p> <p>区全域の地区計画策定と見直しを図るとともに、今後のまちづくりの方針を検討するにあたって、必要な基礎情報となる不動産登記情報を集約しました。</p> <p>※日本テレビ通り沿道のまちづくりの動向に合わせ、日本テレビ通り沿道まちづくり協議会を開催する予定でしたが、地域の方の様々な意見を踏まえ、慎重な検討が必要であることから、年度内の開催を見送ったため、執行率が低くなりました。</p>						
3 事業 年度予 算を踏 まへ の対 令和 実 績 を 踏 ま へ た	<p>地域における様々な動きを捉え、まちづくりの推進につなげていくためには、地域の状況を的確に見極め、まちづくりの方向性を検討することが必要です。</p> <p>令和3年度は、令和2年度に引き続き、まちづくりの機運や開発の動向を捉えながら調査を実施し、地域特性を踏まえて検討していきます。</p>						
所管課	環境まちづくり部 景観・都市計画課 地域まちづくり課		決算参考書	208頁	H31予算の概要	149頁	

86 地区計画制度の適用

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		地域ごとのまちづくりのルールをつくります					
事業概要	内容	<p>地域が主体となり、各地区の特性に応じたきめ細やかなまちづくりのルール（建築物の用途や容積率、壁面の位置の制限、緑化率の最低限度など）を定めることで、総合的なまちづくりを進めます。</p> <p>令和元年度は、六番町偶数番地周辺地区の調査・検討を進めるとともに、新たな地区計画の策定に向けたまちづくりの動向に対応していきます。</p>					
	事業開始年度	平成8年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額			執行率	
	14,740,000円		6,974,000円			47.3%	
	コスト単位	取組み1地区あたり			(1地区)		
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
6,974,000円		[46.3%]	8,100,223円	[53.7%]	15,074,223円	[100.0%]	
事業実績	<p>○令和元年度実績</p> <p>(1) 地区計画制度の適用に向けた調査・検討を行うとともに、地域協議会への支援等を実施しました。</p> <p>調査・検討対象地区：六番町偶数番地周辺地区</p> <p>(2) 現在の地区計画の策定状況</p> <p>①地区数：38地区</p> <p>②面積：約500ha</p> <p>③区内に占める割合：約63%（皇居、北の丸公園を除く区の面積）</p> <p>※六番町偶数番地周辺地区以外の地区も想定していましたが、具体的な進捗につながらなかったため、執行率が低くなりました。</p>						
3 事業実績を踏まえた 課題及び現況への対応	<p>地域特性を踏まえた、きめ細やかなまちづくりのルールである地区計画制度の適用にあたっては、地域におけるまちの将来像の共有と合意形成が大切です。</p> <p>令和3年度は、令和2年度に引き続き、まちづくりの機運や開発の動向を捉えながら、調査の実施や整備構想等の作成、地域特性を踏まえた地区計画制度の適用に向けた検討や地域との協議・調整を実施します。</p>						
所管課	環境まちづくり部	地域まちづくり課	決算参考書	208頁	H31予算の概要	150頁	

87 北の丸公園周辺地域整備の推進

<p>ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標</p>		<p>身近な緑を増やし、うるおいのあるまちをめざします</p>					
<p>事業概要</p>	<p>内容</p>	<p>東京2020大会の競技会場となる武道館を抱える北の丸公園周辺地域は、九段坂公園、旧麹町消防署九段出張所跡地、千鳥ヶ淵緑道、代官町通りなど、区が主体的に整備できる施設があります。</p> <p>この地域において、「豊かな水辺と緑の歩行空間の創出」や「人に優しいバリアフリー化の実現」など、「オリンピック・レガシー創出」に向けた取組みを進めます。</p> <p>令和元年度は、引き続き代官町通りの工事及び九段坂公園の工事を実施し、北の丸公園を取り巻く豊かな自然環境、時代を重ねた景観、潤いある水辺空間など、この地域の魅力を踏まえた取組みを進めていきます。</p>					
	<p>事業開始年度</p>	<p>平成29年度</p>					
<p>事業費・コスト</p>	<p>予算現額</p>		<p>決算額</p>		<p>執行率</p>		
	<p>1,318,000,000円</p>		<p>1,300,191,320円</p>		<p>98.6%</p>		
	<p>コスト単位</p>	<p>取組み1か所あたり (2か所)</p>					
	<p>コスト内訳</p>	<p>事業費等 (A)</p>		<p>人件費 (按分) (B)</p>		<p>総コスト (C=A+B)</p>	
<p>650,095,660円</p>		<p>[99.4%]</p>	<p>4,050,112円</p>	<p>[0.6%]</p>	<p>654,145,772円</p>	<p>[100.0%]</p>	
<p>事業実績</p>	<p>○令和元年度実績</p> <p>(1) 代官町通り 歩道拡幅工事完了</p> <p>樹木調査の結果を踏まえた桜の植替えや、遮熱性舗装、みたけ橋（横断歩道橋）の修景を行いました。</p> <p>(2) 九段坂公園 整備工事完了</p> <p>千鳥ヶ淵緑道との連続性やバリアフリールートの確保、歴史的資源の保存等を桜の開花時期に合わせて竣工しました。</p>						
	 <p>▲代官町通り</p>			 <p>▲九段坂公園</p>			
<p>3年度事業実績を踏まえた令和</p>	<p>本事業は、工事完了により令和元年度で予定通り完了しました。</p> <p>今後も引き続き、九段坂公園から千鳥ヶ淵緑道、代官町通りと連続した水辺と緑の豊かな北の丸公園周辺の快適な歩行空間の維持管理に努めていきます。</p>						
<p>所管課 環境まちづくり部 道路公園課</p>			<p>決算参考書</p>		<p>208頁</p>	<p>H31予算の概要</p>	<p>167頁</p>

88 地域別まちづくりの推進

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		地域ごとのまちづくりのルールをつくります				
事業概要	内容	地域の課題を解決するため、地域自らがルールを定め、そのルールを継続的に運用していく自主的な団体等を支援していきます。				
	事業開始年度	平成8年度				
事業費・コスト	予算現額		決算額	執行率		
	(1) 秋葉原地域まちづくりの推進	5,012,000円	6,556円	0.1%		
	(2) 飯田橋・富士見地域まちづくりの推進	12,674,000円	3,401,220円	26.8%		
	(3) 神田駿河台地域まちづくりの推進	323,229,000円	170,021,608円	52.6%		
	(4) 神田駅周辺地域まちづくりの推進	15,852,000円	9,709,959円	61.3%		
	コスト単位	(1) 取組み1地域あたり			(1 地域)	
		(2) 取組み1地域あたり			(1 地域)	
		(3) 取組み1地域あたり			(1 地域)	
		(4) 取組み1地域あたり			(1 地域)	
	コスト内訳	事業費等 (A)	人件費 (按分) (B)	総コスト (C=A+B)		
	(1)	6,556円 [0.1%]	6,480,178円 [99.9%]	6,486,734円 [100.0%]		
(2)	3,401,220円 [13.0%]	22,680,624円 [87.0%]	26,081,844円 [100.0%]			
(3)	170,021,608円 [93.3%]	12,150,335円 [6.7%]	182,171,943円 [100.0%]			
(4)	9,709,959円 [60.0%]	6,480,178円 [40.0%]	16,190,137円 [100.0%]			
事業実績	○令和元年度実績					
	(1) 秋葉原地域まちづくりの推進 ①外神田一丁目地区のまちづくりについて協議・調整 ※予定していた都市計画の手続きに至らなかったため、執行率が低くなりました。					
	(2) 飯田橋・富士見地域まちづくりの推進 ①飯田橋駅及び駅周辺の整備について協議・調整 ②飯田橋・富士見地域まちづくり協議会等 4回開催 ※予定していた都市計画の手続きに至らなかったため、執行率が低くなりました。					
	(3) 神田駿河台地域まちづくりの推進 ①明大通りの整備、JR御茶ノ水駅の改良等について協議・調整 ②神田駿河台地域まちづくり協議会等 1回開催 ※神田駿河台地域まちづくりの推進の決算額のうち、170,000,000円は、御茶ノ水駅聖橋口駅前広場整備に係る負担金です。 ※地中の支障物撤去等の対応が必要となり、工事に遅れが生じたことから、執行率が低くなりました。(予算の一部を令和2年度に繰越しました。)					
	(4) 神田駅周辺地域まちづくりの推進 ①神田警察通り整備について協議・調整 ②神田駅及び駅周辺の整備について協議・調整 ③神田駅周辺環境整備懇話会等 7回開催 ④内神田南部地区地区計画策定に向けて協議・調整					
3年度事業実績及び現況への対応	地域自らがまちづくりのルールを定め、その運用・活用を継続的に行っていくためには、多様な価値観を有する地域の人々による将来像の共有が不可欠です。 令和2年度は、令和元年度に引き続き、上記4地域の協議会等でまちの将来像について共有化を図りながら協議・調整を進めていきます。 令和3年度も引き続き、各地域の協議会等の活動を支援し、まちの将来像の共有やその実現に向けたルールづくり、ルールを運用していく組織づくりを推進していきます。					
所管課	環境まちづくり部	地域まちづくり課	決算参考書	208頁	H31予算の概要 147頁	

89 九段下まちかど広場の維持管理【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		地域ごとのまちづくりのルールをつくります								
事業概要	内容	九段下駅周辺に位置する九段南一丁目の民有地について、所有者が再利用に着手するまでの間、区が広場として活用します。一般の区民などに開放する「九段下まちかど広場」と子どもの遊び場事業用の広場とに分けて整備し、平成31年4月から供用を開始しました。 「九段下まちかど広場」の部分は内堀通りに面しており、九段下境界の散策時の休憩などに活用できるよう維持管理していきます。								
	事業開始年度	令和元年度								
事業費・コスト	予算現額	9,457,000円			決算額	4,953,110円		執行率	52.4%	
	コスト単位	維持管理面積 1㎡あたり (1,607㎡)								
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)				
		3,082円	[55.0%]	2,520円	[45.0%]	5,602円	[100.0%]			
事業実績	○令和元年度実績 平成31年4月に九段下まちかど広場の供用を開始し、適切に維持管理しました。									
	 <p>▲九段下まちかど広場</p> <p>※既存の地下建築物に溜まる雨水の排水作業を予定していましたが、当初の予定より溜まった雨水が少なく、排水作業の必要がなくなったため、執行率が低くなりました。</p>									
3年度事業実績を踏まえた 課題及び現況への対応	「九段下まちかど広場」は、令和4年11月までの供用を予定しており、供用期間中は、区民等が安全かつ快適に利用できるよう、適切な管理に努めていく必要があります。 令和3年度は、令和2年度に引き続き、適切な管理に努めていきます。									
所管課 環境まちづくり部 地域まちづくり課			決算参考書		208頁		H31予算の概要		150頁	

90 次世代育成住宅助成

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	多様な暮らし方に対応した住まい・住環境づくりを進めます
------------------------	-----------------------------

事業概要	内容	<p>親元近居のために住替えを行う子育て世帯・新婚世帯や、子どもの誕生・成長に伴い区内転居する子育て世帯を対象に、家賃・住宅ローンの一部を助成します。民間住宅ストックを活用しながら区内での定住や世代間共助のライフスタイルを支援する区独自の住宅助成制度です。</p> <p>○助成額（月額） 親元近居助成（世帯員数×1万円）＋2万円 区内転居助成 世帯員数×1万円</p> <p>・最大月額8万円（2年目以降は1年目の助成額から毎年1割ずつ減額）</p> <p>○助成期間 最長8年間</p>
	事業開始年度	平成19年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	169,212,000円		132,780,000円		78.5%		
	コスト単位	助成1世帯あたり（485世帯）					
	コスト内訳	事業費等（A）		人件費（按分）（B）		総コスト（C=A+B）	
273,773円		[95.6%]	12,526円	[4.4%]	286,299円	[100.0%]	

事業実績	○令和元年度実績					
	世帯種別		令和元年度		平成30年度	
			助成受給世帯数	助成額	助成受給世帯数	助成額
	親元近居	新婚世帯	33世帯	11,197,000円	38世帯	12,877,000円
		子育て世帯	178世帯	56,069,000円	201世帯	66,861,000円
	区内転居	子育て世帯	274世帯	65,514,000円	264世帯	62,433,000円
合計		485世帯	132,780,000円	503世帯	142,171,000円	

令和元年度の助成終了後世帯の区内定住率は約75%（直近3か年平均は約73%）であり、一定の成果をあげています。

3 事業 年度実績 予算を踏 まへとの 対応	<p>本制度は、親世帯との近居による世代間の支え合いに着目した区独自の住宅助成制度であり、子育てや介護などにおける世代間共助のきっかけづくりとして、一定の役割を果たしています。今後も、「千代田区第3次住宅基本計画」における住宅施策を展開していくうえで、近居による世代間共助を促進していく必要があります。</p> <p>令和3年度以降も、令和2年度に引き続き、住まいを取り巻く状況の変化を見据えながら、親元近居助成と区内転居助成を継続します。</p>
------------------------------------	--

所管課 環境まちづくり部 住宅課	決算参考書	210頁	H31予算の概要	152頁
------------------	-------	------	----------	------

91 建物の耐震化促進事業【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	建物の耐震化を促進します
------------------------	--------------

事業概要	内容	<p>地震による建物の倒壊等の被害から、区民の生命・財産を保護するとともに、避難経路等の閉塞を防ぐため、現在の耐震基準を満たさない建築物の耐震診断や耐震改修等に対する支援を行い、耐震化を促進します。</p> <p>(1) 事務所ビル等の耐震促進事業 ・耐震診断、補強設計及び耐震改修等（改修は住宅部分に限る）</p> <p>(2) 木造住宅耐震促進事業 ・耐震診断、耐震改修等及び耐震ベッド、シェルター設置</p> <p>(3) マンション等の耐震促進事業 ・耐震診断、補強設計、耐震改修等及びアドバイザー派遣</p> <p>(4) 特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業 ・補強設計及び耐震改修等</p> <p>(5) 要除却ブロック塀等の改善工事助成事業 ・撤去工事、撤去後の軽量フェンス設置工事</p>
	事業開始年度	平成7年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率
	621,249,000円		132,495,000円		21.3%
	コスト単位	助成1件あたり			(25件)
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)	総コスト (C=A+B)
5,299,800円		[82.0%]	1,166,166円	[18.0%]	6,465,966円 [100.0%]

○令和元年度実績 (単位：件)

建物の耐震化促進事業		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
事務所ビル等の耐震促進事業	耐震診断	9	3	3	5	12
	補強設計	1	0	1	-	-
	耐震改修 (住宅部分)	0	0	0	0	0
木造住宅耐震促進事業	耐震診断	1	2	3	13	6
	耐震改修等	5	7	3	4	3
	シェルター等	0	0	0	0	0
マンション等の耐震促進事業	耐震診断	1	3	5	2	4
	補強設計	0	0	0	2	0
	耐震改修等	2	0	0	0	1
特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業	アドバイザー派遣	2	3	2	2	0
	耐震診断	-	1	0	5	11
	補強設計	2	1	3	0	2
要除却ブロック塀等の改善工事助成事業	耐震改修等	2	4	3	13	9
	撤去工事	0	0	-	-	-
合計	軽量フェンス設置工事	0	0	-	-	-
	合計	25	24	23	46	48

各年度の実績件数には、前年度からの繰越分を含んでいます。

※助成実績により、執行率が低くなっています。

3年度事業実績を踏まえた令和3年度予算への対応	<p>事務所ビル等では工事期間中のテナントの仮移転の問題（移転先や費用等）、マンションでは管理組合が必要な合意形成を得られないなど、様々な理由から耐震化が進まない状況があります。</p> <p>令和2年度は、国や都の制度を活用しながら、マンションの耐震改修等の助成制度を拡充します。また、特定緊急輸送道路沿道建築物に対して、耐震診断結果の公表を実施するとともに、建物所有者に直接、耐震改修の実施を促していきます。</p> <p>令和3年度は、令和2年度に引き続き、建物所有者に直接、耐震化を働きかけるなど、耐震化の必要性と助成制度の普及啓発に積極的に取り組みます。</p>
-------------------------	--

所管課 環境まちづくり部 建築指導課	決算参考書	212頁	H31予算の概要	164頁
--------------------	-------	------	----------	------

92 (仮称) 区立麴町仮住宅の整備

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		多様な暮らし方に対応した住まい・住環境づくりを進めます			
事業概要	内容	<p>区営四番町住宅（保育園・児童館・区民集会室併設）及び区営四番町アパート（図書館・職員住宅併設）の建替えの際の仮移転先として、（仮称）区立麴町仮住宅を整備します。</p> <p>令和元年度は、引き続き仮住宅の本体工事を進め、令和2年度中の入居者の仮移転をめざします。あわせて、仮住宅使用後の利活用などについては、「旧千代田保健所麴町庁舎跡地利用検討協議会」において、地域の方の意見や要望を踏まえながら検討を行います。</p>			
	事業開始年度	平成28年度			
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率
	335,430,000円		307,636,204円		91.7%
	コスト単位	整備1か所あたり		(1か所)	
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)	
307,636,204円		[98.7%]	4,050,112円	[1.3%]	311,686,316円 [100.0%]
事業実績	○令和元年度実績				
	<p>(1) (仮称) 区立麴町仮住宅の整備概要</p> <p>①施設名称 (仮称) 区立麴町仮住宅</p> <p>②所在地 平河町二丁目7番4号</p> <p>③施設規模 延床面積：3,491.45㎡（地上12階 地下1階） 戸数：53戸</p> <p>④スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度 基本設計・実施設計 平成28～29年度 旧千代田保健所麴町庁舎解体工事 平成29～令和2年度 (仮称) 区立麴町仮住宅新築工事 <p>(2) 旧千代田保健所麴町庁舎跡地利用検討協議会 仮住宅として使用した後の利活用などについて、旧千代田保健所麴町庁舎跡地利用検討協議会を設置し、検討・協議しています。 なお、令和元年度については、新たに報告・協議すべき案件がなかったため、会議実績はありませんでした。</p>				
3年度事業実績及び現況と令和3年度予算への対応	<p>(仮称) 区立麴町仮住宅の建設工事を進めていますが、仮住宅として使用した後の利活用について、地域の課題を踏まえた検討を進めていくことが必要です。</p> <p>令和2年度は、竣工に向け躯体工事及び仕上げ工事等を進めるとともに、入居者に対し移転に関する説明会等を実施し、竣工後に区営四番町住宅と区営四番町アパートから仮住宅への仮移転を行います。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、竣工は8月末から11月末の予定となりました。</p> <p>また、地下鉄永田町駅連絡通路の整備について、鉄道事業者との協議を進めます。</p> <p>さらに、旧千代田保健所麴町庁舎跡地利用検討協議会において、仮住宅使用終了後の利活用について検討していきます。</p> <p>令和3年度は、令和2年度に引き続き、地下鉄永田町駅連絡通路の整備に向けた協議や、仮住宅使用終了後の利活用の検討を進めます。</p>				
	所管課 環境まちづくり部 住宅課	決算参考書	212頁	H31予算の概要	152頁

93 公衆・公園便所の維持管理（清掃費）【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		だれもが移動しやすい環境の整備を進めます				
事業概要	内容	区内36か所の公衆トイレの清掃は毎日2回実施しており、これまで、床に水を撒いて清掃する湿式清掃を行っていましたが、床が乾かない間の歩行により汚れやすく、清掃排水により雑菌の繁殖や臭気が発生していました。 公衆トイレのリフレッシュ工事により、床面等を改良し、水を撒かずに清掃する乾式清掃を行うことにより、衛生的なトイレの維持管理に努めます。				
	事業開始年度	—				
事業費・コスト	予算現額			決算額	執行率	
	(1) 公衆便所維持管理（清掃費）		38,614,000円	32,314,014円	83.7%	
	(2) 公園維持管理（清掃費）		152,151,000円	135,146,789円	88.8%	
	コスト単位	(1) 公衆便所1か所あたり		(19か所)		
		(2) 公園等管理面積1㎡あたり		(120,579㎡)		
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)	総コスト (C=A+B)	
	(1)	1,700,738円	[95.2%]	85,266円	[4.8%]	1,786,004円
(2)	1,121円	[98.9%]	13円	[1.1%]	1,134円	[100.0%]
事業実績	<p>○令和元年度実績</p> <p>(1) 日常清掃（毎日2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公衆トイレ清掃 19か所 ・公園トイレ清掃 17か所 <p>※うちリフレッシュ工事後に乾式清掃へ移行15か所</p> <p>(2) 特別清掃</p> <p>専門家によるトイレ診断を踏まえ、汚れを抑制するコーティング処理や器具点検、迅速な補修対応等により、快適で衛生的な状態を維持します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ診断（年2回） ・器具点検（月1回） ・特殊洗浄・コーティング（年1回） ・大掃除（年2回） ・排水管洗浄（年1回） 					
3年度事業実績を踏まえた令和3年度予算への対応	<p>公衆トイレのリフレッシュ工事と併せて、清掃等を適切に行い、衛生的なトイレを維持していく必要があります。</p> <p>令和3年度以降は、令和2年度に引き続き、快適で衛生的なトイレの維持管理に努めていきます。</p>					
所管課 環境まちづくり部 道路公園課		決算参考書 214、216頁		H31予算の概要	160頁	

94 公衆トイレのリフレッシュ

<p>ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標</p>		<p>だれもが移動しやすい環境の整備を進めます</p>					
<p>事業概要</p>	<p>内容</p>	<p>東京2020大会に向けて、来街者の増加が見込まれる中で、4K（くさい、きたない、くらい、こわい）と言われる公衆トイレの良くないイメージを払拭し、「おもてなし」の向上を図り、誰もが安全・安心・快適に利用できるよう、ユニバーサルデザイン等を取り入れて、区内の公衆トイレの一斉改修（リフレッシュ）を実施します。</p>					
	<p>事業開始年度</p>	<p>平成30年度</p>					
<p>事業費・コスト</p>	<p>予算現額</p>		<p>決算額</p>		<p>執行率</p>		
	<p>445,700,000円</p>		<p>368,990,120円</p>		<p>82.8%</p>		
	<p>コスト単位</p>	<p>整備1か所あたり</p>				<p>(11か所)</p>	
	<p>コスト内訳</p>	<p>事業費等 (A)</p>		<p>人件費 (按分) (B)</p>		<p>総コスト (C=A+B)</p>	
<p>33,544,556円</p>		<p>[96.8%]</p>	<p>1,104,576円</p>	<p>[3.2%]</p>	<p>34,649,132円</p>	<p>[100.0%]</p>	
<p>事業実績</p>	<p>○令和元年度実績</p> <p>(1) 整備 11か所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地蔵橋 ・飯田橋 ・堀留橋際 ・芳林公園際・なか通り・西神田公園 ・新三崎橋際・牛込見附・龍閑児童公園 ・外濠公園 (市ヶ谷) ・小川広場 <p>(2) 主な整備内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①和式便器の洋式化・温水洗浄便座 ②段差解消・自動洗浄・自動水洗 ③乾式清掃仕様の床材 ④LED照明化 <p>※令和元年度は14か所の整備を予定していましたが、うち3か所は新型コロナウイルス感染拡大に伴いトイレ器具の調達が困難となったため、一部の予算を令和2年度に繰り越して実施します。</p>						
	 <p>▲小川広場トイレ</p>						
<p>3年度実績を踏まえた令和2年度予算への対応</p>	<p>公衆トイレは、大きさや構造・仕様などが様々であり、敷地が国道・都道・財務省用地にもあることや、文化財や鉄道に隣接していることから、工事の際は、関係機関の承認や協議に時間を要する場合があります。このため、計画的に整備を進めていくことが、今後整備をする際の課題です。</p> <p>令和2年度に、令和元年度に整備が未完了の3か所を含めて14か所の整備を実施し、リフレッシュ工事を完了します。</p>						
<p>所管課 環境まちづくり部 道路公園課</p>		<p>決算参考書</p>		<p>214頁</p>	<p>H31予算の概要</p>		<p>156頁</p>

95 バリアフリー歩行空間の整備




ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		だれもが移動しやすい環境の整備を進めます				
事業概要	内容	区は、誰もが安全で快適に移動できるまちをめざして、道路のバリアフリー化を推進しています。その中で、災害時の円滑な救援活動に資するとともに、歩行空間の確保や景観の向上に寄与する電線類の地中化及び歩道設置・拡幅事業を実施しています。				
	事業開始年度	平成14年度				
事業費・コスト	予算現額			決算額	執行率	
	(1) 電線類地中化の推進		788,020,000円	514,462,746円	65.3%	
	(2) 歩道の設置・拡幅整備		202,200,000円	97,460,000円	48.2%	
	コスト単位	(1) 整備1地区あたり		(4地区)	
		(2) 整備1路線あたり		(2路線)	
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)	総コスト (C=A+B)	
	(1)	128,615,687円	[95.5%]	6,075,167円	[4.5%]	134,690,854円
(2)	48,730,000円	[96.0%]	2,025,056円	[4.0%]	50,755,056円	[100.0%]
事業実績	<p>○令和元年度実績</p> <p>(1) 電線類地中化の推進 4地区で事業に取り組みました。</p> <p>実施地区 ①大神宮通り地区 : 電線共同溝本体工事、引込連携管工事</p> <p>②多町大通り南周辺地区 : 支障移設工事</p> <p>③二七通り東地区 : 支障移設工事、電線共同溝本体工事</p> <p>④和泉公園周辺地区 : 電線共同溝本体工事、引込連系管工事</p> <p>(2) 歩道の設置・拡幅整備 2路線で工事、1路線で設計に取り組みました。</p> <p>実施路線 ①明大通りⅡ期 : 設計業務</p> <p>②大門通りⅢ期 : 工事竣工</p> <p>※「歩道の設置・拡幅整備」については、明大通りⅡ期工事において関係者協議に時間を要し工事に着手できなかったため、執行率が低くなっています。</p>					
3年度事業実績及び予算現況との対応	<p>道路整備にあたっては、誰もが安全で安心して快適に利用できるという視点はもとより、環境や景観への配慮、地域の生活や事業活動を支える基盤であるという視点が必要です。</p> <p>令和2年度は、これらの視点に立ち、電線類地中化の推進について、4地区の事業に取り組みます。また、歩道の設置・拡幅整備は、明大通りⅡ期工事に取り組んでいきます。</p> <p>令和3年度は、令和2年度に引き続き、「電線類地中化の推進」及び「歩道の設置・拡幅整備」に取り組んでいきます。</p>					
所管課	環境まちづくり部	道路公園課	決算参考書	214頁	H31予算の概要	157頁

96 橋梁の整備

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	だれもが移動しやすい環境の整備を進めます
------------------------	----------------------

事業概要	内容	<p>区は、平成22年度に長期的コストなどの視点を踏まえた橋梁の長寿命化修繕計画を策定し、その計画に基づき補修補強等を行っています。</p> <p>現在は平成27年度に行った橋梁健全度調査の結果を踏まえ、お茶の水橋、後楽橋、雉子橋の3橋について、補修補強を進めています。</p> <p>令和元年度は、お茶の水橋の工事、後楽橋及び雉子橋の設計を行います。</p>
	事業開始年度	平成22年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	1,144,302,000円		937,101,642円		81.9%		
	コスト単位	整備1橋あたり (3橋)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
	312,367,214円	[99.1%]	2,700,074円	[0.9%]	315,067,288円	[100.0%]	

事業実績	<p>○令和元年度実績</p> <p>(1)お茶の水橋 補修・補強工事</p> <p>(2)後楽橋 補修・補強工事に向け関係機関との協議・設計図書の作成</p> <p>(3)雉子橋 補修・補強工事に向け関係機関との協議・調整</p>					
						
	▲お茶の水橋		▲後楽橋		▲雉子橋	

3年度事業実績を踏まえた 課題及び現況への対応	<p>橋梁整備にあたっては、誰もが安全で安心して快適に利用できるという視点はもとより、環境や景観への配慮、地域の生活や事業活動を支える基盤であるという視点が必要です。また、交通管理者・河川管理者・鉄道事業者など多くの関係機関等と協議・調整を重ね、計画的に整備を進めていく必要があります。</p> <p>令和2年度は、東京2020大会の延期の影響から整備スケジュールに変更があるものの、お茶の水橋の補修・補強工事を継続的に進めながら、後楽橋及び雉子橋の補修・補強に向けた協議・調整・設計について、引き続き進めていきます。</p> <p>また、工事中以外の橋梁については、5年に一度の定期点検に加え、鋼橋について塗膜成分調査を実施します。</p> <p>令和3年度は、引き続きお茶の水橋の工事を安全に進めるとともに、後楽橋の補修・補強工事に着手し、雉子橋の補修・補強に向けた協議・調整を進めていきます。また、定期点検及び塗膜成分調査の結果を基に長寿命化修繕計画を更新していきます。</p>					

所管課 環境まちづくり部 道路公園課	決算参考書	216頁	H31予算の概要	161頁
--------------------	-------	------	----------	------

97 自転車道の整備

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		だれもが移動しやすい環境の整備を進めます					
事業概要	内容	<p>近年、健康や環境・災害対策等への意識の高まりなどから、自転車を利用するニーズは高まっている反面、交通安全・マナーなどの問題も増加し、自転車の安全な走行環境の整備対策が求められています。</p> <p>そのため、平成25年度に策定した「千代田区自転車利用ガイドライン」に基づき、安全で快適な自転車利用ができる自転車走行空間の自転車レーン及びナビマーク・ナビラインによる整備を推進します。対象路線は、神田警察通り及び東京2020大会に向けた国・都・区の自転車推奨ルートの対象路線である国会通りなどです。</p> <p>また、神田警察通りⅡ期工事の着手に向け、沿道整備協議会や地域などの意見を踏まえ、協議・調整します。</p>					
	事業開始年度	平成26年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額			執行率	
	65,000,000円		52,666,900円			81.0%	
	コスト単位	整備1路線あたり			(8路線)		
	コスト内訳	事業費等(A)		人件費(按分)(B)		総コスト(C=A+B)	
6,583,363円		[92.9%]	506,264円	[7.1%]	7,089,627円	[100.0%]	
事業実績	<p>○令和元年度実績</p> <p>(1) 神田警察通りⅡ期(設計)</p> <p>神田警察通りの整備について、沿道及びその周辺地域を対象に整備に関するアンケートを実施し、意見を集約しました。</p> <p>※主な意見 自転車走行空間を整備してほしい：75%</p> <p>(2) 国会通りほか(工事)</p> <p>路面標示による自転車走行空間の整備を実施しました。</p>						
	 <p>▲自転車レーン(国会通り)</p>			 <p>▲ナビマーク・ナビライン(丸の内1丁目4番先)</p>			
3年度事業実績を踏まえた対応	<p>自転車走行空間の整備にあたっては、誰もが安全で安心して快適に利用できるという視点はもとより、環境や景観への配慮、地域の生活や事業活動を支える基盤であるという視点が重要です。</p> <p>令和2年度は、これらの視点に立ち、神田警察通りⅡ期工事の着手に向けて取り組むとともに、大妻通り及び半蔵門駅通りにおいて路面標示による自転車走行空間の整備について検討・実施していきます。</p> <p>令和3年度は、引き続き神田警察通りの整備を進めるとともに、ナビマーク・ナビライン等の路面標示による自転車走行空間の整備を進めます。</p>						
所管課	環境まちづくり部 道路公園課		決算参考書	216頁	H31予算の概要	161頁	

98 交通安全地域整備（ゾーン30等）

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	だれもが移動しやすい環境の整備を進めます
------------------------	----------------------

事業概要	内容	<p>狭い道路が多い区道では、歩行者や自転車の安全な通行を確保することを目的として、大通りで囲まれた区域（ゾーン）ごとに、交通管理者（警察）との連携を図りながら、交通安全地域整備（ゾーン30[※]）により、30キロ速度規制や路面標示等による交通安全対策を実施しています。</p> <p>※ゾーン30とは、区域（ゾーン）を定めて時速30キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における車の走行速度や通り抜けを抑制する交通安全対策の一つです。</p>
	事業開始年度	平成26年度

事業費・コスト	予算現額	決算額		執行率		
	5,000,000円	4,712,038円		94.2%		
	コスト単位	整備1地区あたり		（2地区）		
	コスト内訳	事業費等（A）		人件費（按分）（B）		総コスト（C=A+B）
	2,356,019円	[85.3%]	405,011円	[14.7%]	2,761,030円	[100.0%]

事業実績	<p>○令和元年度実績</p> <p>ゾーン30に指定されている一番町・三番町・四番町地区と神田和泉町地区の2地区の区域内の交通安全対策として、横断抑止柵の設置や交差点マーク等の道路標示を実施しました。</p>	
	 <p>▲速度抑制の道路標示</p>	 <p>▲ゾーン30道路標示</p>

3 事業年度実績を踏まえた令和3年度予算への対応	<p>狭い道路が多い区道において、交通の安全を確保するためには、地元町会や地域の方々、交通管理者（警察）と調整や連携を図りながら進めていく必要があります。</p> <p>令和3年度は、令和2年度に引き続き、指定されている区域内の交通安全対策をより充実させていきます。</p>
--------------------------	---

所管課 環境まちづくり部 道路公園課	決算参考書	216頁	H31予算の概要	162頁
--------------------	-------	------	----------	------

99 外濠公園総合グラウンド整備

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		身近な緑を増やし、うるおいのあるまちをめざします					
事業概要	内容	外濠公園総合グラウンドは、都心における限られた貴重な屋外スポーツ施設です。その一方で、雨天等によるグラウンドコンディションの不良などにより、利用が制約されるという実態があります。 そこで、区民がスポーツに親しめる環境を高めるための整備に向け、文化庁や財務省などの関係機関及び各利用団体と協議や調整を行っています。 令和元年度は、外濠公園総合グラウンドの土壌調査を実施し、整備のための設計を行います。					
	事業開始年度	平成28年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額			執行率	
	57,000,000円		0円			0.0%	
	コスト単位	整備1か所あたり				(1か所)	
	コスト内訳	事業費等(A)		人件費(按分)(B)		総コスト(C=A+B)	
0円		[0.0%]	8,100,223円	[100.0%]	8,100,223円	[100.0%]	
事業実績	○令和元年度実績 整備にあたり、文化庁や財務省などの関係機関との調整に加え、土壌汚染対策法や東京都環境確保条例に基づく届出や土壌調査について関係部署と調整を行ってきました。 しかし、文化財的視点からの整理や土壌調査及びその後の整備も含めたグラウンドの長期閉鎖による区民への影響等について総合的に勘案した結果、土壌調査の実施には至りませんでした。						
3年度事業実績及び予算への対応	外濠公園総合グラウンドの整備を進めるにあたっては、グラウンドの長期閉鎖等、区民への影響を最小限に抑えることができる整備手法の検討が必要です。 令和2年度は、整備に向けた様々な手法の調査・検討を行います。 令和3年度は、令和2年度の調査や検討内容を踏まえ、整備に向けて取り組みます。						
所管課 環境まちづくり部 道路公園課		決算参考書		216頁	H31予算の概要		168頁

100 東郷元帥記念公園の整備

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	身近な緑を増やし、うるおいのあるまちをめざします
------------------------	--------------------------

事業概要	内容	<p>東郷元帥記念公園は、昭和4年に震災復興公園として開園し、その後隣接していた東郷平八郎私邸の寄附を受け、3階層からなる公園として整備され、地域における豊かな緑や貴重なオープンスペースとなっています。昭和40年に改修整備され、その後は部分改修を重ねながら50年が経過し、バリアフリーへの対応などが必要となっています。</p> <p>このような状況の中、歴史的経緯を尊重しながら、より一層地域に愛される公園としてリニューアルするため、近隣住民や関係機関との合意形成を図りつつ整備を進めています。</p> <p>令和元年度は、施工中に基準値を超える鉛が検出された土壌の処理を行うとともに、公園下段部広場工事を実施します。</p>
	事業開始年度	平成29年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	432,000,000円		11,944,000円		2.8%		
	コスト単位	整備面積 1㎡あたり (7,119㎡)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
	1,678円	[59.6%]	1,138円	[40.4%]	2,816円	[100.0%]	

事業実績	○令和元年度実績
	<p>(1) 東郷元帥記念公園改修工事検討協議会</p> <p>①令和元年10月29日 (第16回協議会)</p> <p>②令和2年2月13日 (第17回協議会)</p> <p><協議会での確認事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹木の取扱い方針の決定 <p>(2) 改修工事</p> <p>平成29年10月に着工しましたが、土壌から基準を上回る鉛が検出されたことにより、平成30年7月に工事を中止しました。</p> <p>土壌対策の専門家の意見を聴きながら関係機関との調整を行い、土壌対策の方法策の方法を検討していたため、執行率が低くなっています。</p>

3 事業 年度実績 予算を踏 まえた 令和	<p>土壌調査の結果や住民・関係者の意見などを踏まえて整備内容を整理することや、公園全面を閉鎖せず広場を確保しながら、安全に工事を進める必要があります。</p> <p>令和2年度は、協議会で決定した樹木の取扱い方針を踏まえて、土壌の処理及び公園下段部の工事を行います。</p> <p>令和3年度は、引き続き、上・中段部の工事を実施し、工事竣工をめざします。</p>
-----------------------------------	--


所管課 環境まちづくり部 道路公園課	決算参考書	216頁	H31予算の概要	168頁
--------------------	-------	------	----------	------

101 錦華公園の整備【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	身近な緑を増やし、うるおいのあるまちをめざします
------------------------	--------------------------

事業概要	内容	<p>錦華公園は、昭和42年の改修から50年以上が経過して老朽化が進んでいます。公園の改修整備にあたり、調査・測量をするとともに、隣接するお茶の水小学校・幼稚園の建替えと連携しつつ、地域住民や学校関係者等の意見を踏まえながら、より地域に愛される公園としてリニューアルします。</p> <p>■整備内容の検討 公園利用者調査、地域や学校へのアンケート、現地でのオープンハウス、意見交換会、公園だよりの配布、お茶の水小学校・幼稚園整備検討協議会など、広く意見を伺いながら検討を進めます。</p> <p>■スケジュール 令和元年度～令和2年度 整備内容の検討及び設計 令和3年度～令和4年度 整備工事（予定）</p>
	事業開始年度	令和元年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	16,060,000円		9,830,000円		61.2%		
	コスト単位	整備面積 1 m ² あたり (2,759 m ²)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
		3,563円	[60.3%]	2,349円	[39.7%]	5,912円	[100.0%]

事業実績	<p>○令和元年度実績 錦華公園の改修にあたり意見聴取の方法を検討し、地域や子どもへのアンケート調査、意見交換会、公園だよりの配布などを行いました。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、3月に予定していた第2回意見交換会は中止としました。</p> <p>【意見聴取の方法】</p> <p>①公園利用者調査 : 令和元年10月17日、27日</p> <p>②地域や子どもへのアンケート : 令和元年11月実施</p> <p>③オープンハウス : 令和元年11月22日、23日 (雨天により中止)</p> <p>④意見交換会 : 令和元年12月16日</p> <p>⑤公園だよりの配布 : 令和2年1月下旬</p>	 <p style="text-align: center;">▲意見交換会</p>
	<p>○令和2年度実績 錦華公園の改修にあたり意見聴取の方法を検討し、地域や子どもへのアンケート調査、意見交換会、公園だよりの配布などを行いました。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、3月に予定していた第2回意見交換会は中止としました。</p> <p>【意見聴取の方法】</p> <p>①公園利用者調査 : 令和2年10月17日、27日</p> <p>②地域や子どもへのアンケート : 令和2年11月実施</p> <p>③オープンハウス : 令和2年11月22日、23日 (雨天により中止)</p> <p>④意見交換会 : 令和2年12月16日</p> <p>⑤公園だよりの配布 : 令和3年1月下旬</p>	

3年度事業実績を踏まえた課題及び現況への対応	<p>公園の改修整備については、近隣住民や利用者等の声を幅広く伺い、できる限り多くの意見や要望を取り入れていく必要があります。 令和2年度は、引き続き意見交換会や現地でのオープンハウス、公園だよりの配布等を行い、意見集約を行ったうえで整備計画をまとめ、整備に向けた設計を進めます。 令和3年度は、整備工事に着手し、令和4年度に整備を完了する予定です。</p>
------------------------	---

所管課 環境まちづくり部 道路公園課	決算参考書	216頁	H31予算の概要	168頁
--------------------	-------	------	----------	------

102 国史跡常磐橋の修復【補正予算】


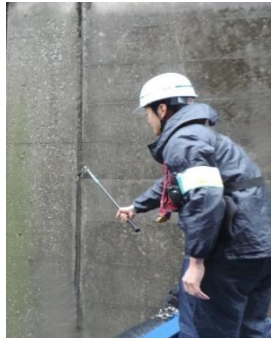
ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		身近な緑を増やし、うるおいのあるまちをめざします						
事業概要	内容	日本橋川に架設されている常盤橋公園内の常磐橋は、明治10年(1877年)に架橋された都内で最も古い石橋で、国史跡常盤橋門跡の一部として文化財に指定されています。 この常磐橋は、経年劣化に加え、東日本大震災の影響により変形が進行したため、平成25年度から専門的な文化財調査を行いながら修復工事を行っています。						
	事業開始年度	平成25年度						
事業費・コスト	予算現額	737,249,000円		決算額	620,333,560円	執行率	84.1%	
	コスト単位	石橋の修復工事 1か所あたり		(1か所)		
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)		
		620,333,560円	[98.7%]	8,100,223円	[1.3%]	628,433,783円	[100.0%]	
事業実績	○令和元年度実績 (1) 常磐橋の概要 ①施設名 常磐橋 ②所在地 大手町二丁目7番 ③規模 橋長：32.3m 幅員：11.4m 構造：2連アーチ石造橋		 <p>▲修復工事の様子</p>					
	(2) 工事内容 解体した石橋（常磐橋）の修復工事を実施							
令和元年度も平成30年度に引き続き、石橋の修復を行うために石積み作業等を進めてきました。しかし、近年、多発する災害により同様の復旧作業が全国的に行われ、熟練した技術を持つ石工を予定数確保することができず、工期内に工事を完了することが出来ませんでした。		令和2年度は未完成部分の工事を引き続き行い、修復工事を完了します。						
3 事業年度実績を踏まえた対応	課 事業年度実績を踏まえた対応							
所管課 環境まちづくり部 道路公園課			決算参考書		216頁		H31予算の概要	-

103 河川管理施設点検等【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	身近な緑を増やし、うるおいのあるまちをめざします
------------------------	--------------------------

事業概要	内容	<p>護岸・転落防止柵等の河川管理施設について、これまでも区が点検・維持補修等を行っていますが、さらに新しく国・都の点検要領を踏まえた統一的な尺度で点検及び評価を行います。</p> <p>各施設の損傷具合・種類を系統的に捉えながら、適切な補修方法の検討や計画的な補修につなげていきます。</p>
	事業開始年度	令和元年度

事業費・コスト	予算現額	決算額		執行率		
	15,000,000円	10,395,000円		69.3%		
	コスト単位	管理延長 1mあたり		(9,360 m)		
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)
	1,111円	[92.7%]	87円	[7.3%]	1,198円	[100.0%]

事業実績	<p>○令和元年度実績</p> <p>区内の神田川及び日本橋川における護岸・転落防止柵などの河川管理施設等について点検及び評価を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検を実施した護岸管理延長（橋台を除く）9,360m ・護岸点検の結果 <p>神田川右岸：判定区分B 神田川左岸：判定区分B 日本橋川右岸：判定区分B 日本橋川左岸：判定区分B</p> <p>※判定区分</p> <p>A：機能に支障がない健全な状態 B：経過を監視する必要がある状態 C：対策の実施が望ましい状態 D：早急な対策が必要な状態</p>							
								
			▲目視による護岸点検			▲打音検査		

3 事業年度実績を踏まえた対応	<p>令和元年度の結果を基に、都と補修等について協議していく必要があります。</p> <p>令和3年度も、令和2年度に引き続き点検を実施し、河川管理施設等の安全管理に努めていきます。</p>					
-----------------	---	--	--	--	--	--

所管課 環境まちづくり部 道路公園課	決算参考書	216頁	H31予算の概要	169頁
--------------------	-------	------	----------	------

104 事業系ごみ等対策

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	資源循環型都市をめざします
------------------------	---------------

事業概要	内容	事業系ごみが大半を占める千代田区では、事業用大規模建築物（延床面積1,000㎡以上の事業用建築物）の所有者等に対し、毎年、ごみの減量及びリサイクルを推進するため、再利用計画書等の提出を義務付けています。また、その計画書を基に立入検査を実施し、取組みが不十分な事業者については、助言や指導を行います。さらに、ごみの減量・リサイクルに積極的に取り組み、顕著な成果を挙げた所有者等については、優良廃棄物管理建築物として表彰を行っています。
	事業開始年度	平成12年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	2,326,000円		1,491,526円		64.1%		
	コスト単位	許可業者・対象建築物1件あたり (2,341件)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
	637円	[3.3%]	18,782円	[96.7%]	19,419円	[100.0%]	

事業実績	○令和元年度実績					
	(1) 事業用大規模建築物立入調査件数 (単位：件)					
	年度		令和元年度	平成30年度	平成29年度	
	対象					
	床面積3,000㎡以上	145	169	185		
	床面積1,000～3,000㎡未満	0	6	18		
	合計	145	175	203		
	(2) 優良廃棄物管理建築物 優秀賞 丸の内ビルディング					

3 事業 年度実績 及び現況 を踏まえ 令和 対応	<p>区におけるごみの排出量の推移は微減傾向となっておりますが、「第4次千代田区一般廃棄物処理基本計画」で定めたごみ削減量の目標を達成するためには、区全体のごみ発生量の約8割を占める大規模事業所の理解と協力が不可欠です。</p> <p>令和3年度は、令和2年度に引き続き、個々の事業所等の環境に適した有効なリサイクル対策について提案するとともに、リサイクル推進の意識付けを広く行っていきます。一方、他の模範となる優れた取組みを積極的に行っている所有者等に対して引き続き表彰を行い、奨励の面からも対策を充実させていきます。</p>
--	--

所管課 環境まちづくり部 千代田清掃事務所	決算参考書	218頁	H31予算の概要	179頁
-----------------------	-------	------	----------	------


105 ごみの収集・運搬【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	資源循環型都市をめざします
------------------------	---------------

事業概要	内容	<p>区は、資源とごみの集積所に掲示している看板を、東京2020大会開催前に、千代田区公共サインデザインマニュアルに従った、「風格あるまち千代田」にふさわしい看板に付け替えます。</p> <p>また、年々増加傾向にある粗大ごみにおいて、申し込みから収集までの期間が長期にならないよう、収集体制の強化を行います。</p>
	事業開始年度	平成12年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	379,203,000円		355,465,445円		93.7%		
	コスト単位	ごみ・船舶輸送 1 tあたり				(17,727 t)	
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
20,052円		[42.5%]	27,097円	[57.5%]	47,149円	[100.0%]	

事業実績	<p>○令和元年度実績</p> <p>集積所看板のデザインを変更し、区内全ての資源とごみの集積所看板を付け替えました。</p> <p>また、粗大ごみの申し込みから収集までの期間（約2週間）を維持するため、運搬車両を増車しました。</p>			
	年度	粗大ごみ 収集件数 (点数)	運搬車両 台数	作業日数
	令和元年度	31,971件 (73,836点)	620台	310日
	平成30年度	28,440件 (70,365点)	473台	308日



▲集積所看板

3年度事業実績及び現況への対応	<p>粗大ごみの収集件数は増加傾向にあることから、収集体制の強化を図ることが必要です。</p> <p>令和3年度は、令和2年度に引き続き粗大ごみ収集体制を強化し、区民サービスの向上を図っていきます。</p>
-----------------	---

所管課 環境まちづくり部 千代田清掃事務所	決算参考書	218頁	H31予算の概要	177頁
-----------------------	-------	------	----------	------

106 資源回収事業【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	資源循環型都市をめざします
------------------------	---------------

事業概要	内容	<p>平成29年8月に発効された水銀による環境汚染防止をめざす「水銀に関する水俣条約」により、水銀を使用している蛍光灯の埋め立て処分は、令和元年度末で終了します。</p> <p>これを受け、区は埋め立て終了期限を待たずに、蛍光灯の処分方法を破碎・埋め立て処理から、専門の処理業者に資源化を委託します。あわせて、水銀を含む水銀体温計や収集車両の火災原因となるカセットボンベ缶・ライター・電池の処理を、同じく破碎・埋め立てる方法から、専門の処理業者による資源化に変更し、資源化を推進します。</p>
	事業開始年度	平成9年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	554,253,000円		526,833,199円		95.1%		
	コスト単位	回収量1 tあたり				(4,393 t)	
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
		119,926円	[98.3%]	2,084円	[1.7%]	122,010円	[100.0%]

事業実績	<p>○令和元年度実績</p> <p>専門の処理業者に資源化を委託することにより、材質毎に資源化を実施しました。また、カセットボンベ缶・ライター・電池の資源回収により、年に数回起きていた収集車両の火災事故の発生を防ぐことができました。</p> <p><資源化量></p>				
	年度	蛍光灯	電池	カセットボンベ缶	ライター
	令和元年度	13.6 t	16.3 t	12.5 t	0.7 t
	平成30年度	2.0t	4.5 t	—	—

※カセットボンベ缶、ライターは令和元年度から新たに資源化を開始しました。

3 事業 年度 課題 実績 予 算 及 び 現 況 踏 ま え の 対 応 と 令 和 3 年 度 予 算	<p>水銀による環境汚染を防止するとともに、限られた資源の有効活用に向けていく必要があります。</p> <p>令和3年度は、令和2年度に引き続き蛍光灯等の回収を行い、資源化を図っていきます。</p>
--	---

所管課 環境まちづくり部 千代田清掃事務所	決算参考書	218頁	H31予算の概要	178頁
-----------------------	-------	------	----------	------